

第5回 科学技術の「美」パネル展

最優秀賞など10件表彰

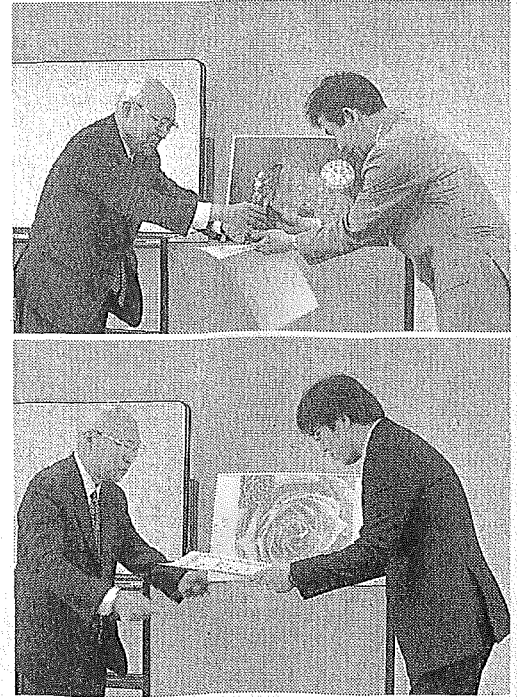
科学技術団体連合(有馬朗人会長)は、4月15日に科学技術館(東京都千代田区北の丸公園)で、第5回科学技術の「美」パネル展表彰式を開いた。

科学者や研究者が、研究現場などで研究の過程や成果などとして観察、撮影している美しく感動的な画像を公募し、そこから厳選した写真をパネルにして展示しているのが、科学技術技術週間などをはじめ、全国で開催している科学技術「美」パネル展である。

展示会の来場者には展示を見てどのパネルが良かったかアンケートをしており、その投票結果から毎年最優秀賞などを選んでいく。今回は、最優秀賞2件、優秀賞8件を表彰した。

【最優秀賞】

- ▽「電子が作る磁」高輝度科学センター制御・情報部門・松下智裕氏
- ▽「ナノサイズの金の書」物質・材料研究開発機構ナノ有機センター高分子グループ・中西尚志氏
- ▽「太陽観測衛星「ひのこ」が観測した日食」宇宙航空研究開発機構
- ▽「地球磁気圏の複雑な磁場構造」海洋研究開発機構地球シミュレーションセンター・松岡大祐氏
- ▽「がん細胞にくすりを届ける」科学技術振興機構・東京大学大学院医学系研究科片岡一則研究室(JST CREST)・松本有氏
- ▽「電子の流れが織りなした樹形図」高輝度科学センター加速器部門・富澤宏光氏
- ▽「無限の図形を探検しよう」日本技術士会近畿支部佐伯英子氏
- ▽「妖艶に輝く「KAR EN」な装置」日本原子力研究所超分子科学研究室・川本益揮氏、志賀多月氏
- ▽「染色体構築を制御するタンパク質の分布」理学研究所基幹研究所平野染色体ダイナミクス研究室・小野教夫氏



最優秀賞の表彰。上の写真が有馬会長から賞状を手渡される松下智裕氏⑤、下が中西尚志氏⑥

早大とブリヂストンが連携 環境保全研究 委託先募集

早稲田大学(鎌田薫総長)とブリヂストンの連携プロジェクト「W-BRIDGE」が、今年7月〜来年6月30日までの研究委託先の募集を開始した。同社が設定した4領域の環境問題について取り組んでいるNPOやNGO、市民団体など(営利組織は除く)が、早稲田大学または同大協定校等に所属する常勤教員と連名で応募する必要がある。募集締め切りは6月1日18時(必着)。

対象となる研究・活動は、①2050年の視点からCO₂を減らす方法を、生活者と共に考える②資源を大切に使い循環させる仕組み

を、生活者と共に考える③企業や生活者が共に自然と共生していく方法を考える④環境保全の知見や手法を世界に広げ、次世代と共に学ぶ方法を考える①の4領域。委託費用総額は2200万円。募集要項はWebサイト(<http://www.w-bridge.jp/>)からダウンロード可能。応募はEメール(w-bridge@list.waseda.jp)でのみ受け付ける。

△問い合わせ先 W-BRIDGE事務局(早稲田大学内)、電話03-5229-23526、FAX03-5229-23527、E-mail: w-bridge@list.waseda.jp

低炭素社会の実現(小宮山宏・低炭素社会戦略センター長)▽講演・科学技術進歩と社会システム設計がもたらす豊かな低炭素社会(山田興一・低炭素社会戦略センター副センター長)▽スピーチセッションによる豊かな社会創造▽パネルディスカッション

△定員500人▽問い合わせ先 シンポジウム運営事務局(電話03-5229-23526、FAX03-5229-23527) E-mail: ics2011@athree.com

この機器開発のため の今を知るシンポジウム

や、昨年大きな話題となった「はやぶさ」が持ち帰った小惑星「イトカワ」の試料の分析を担当した根本尚義・北海道大学大学院理学研究院教授が講演する。

このシンポジウムは、科学技術全分野の研究者

「CLA」施設公開

入場は無料、事前申し込み不要。

Spring-8を代表する周長約1.5kmの大さなリング状の研究施設や、昨年5月に完成したX線自由電子レーザー施設「SACLA(Synergy)CLA」

学界だより

◇JUST主催・低炭素社会実現に向けたシナリオと戦略・LCS低炭素社会戦

略センター設立1周年シンポジウム(5月10日18時)一橋記念講堂(東京都千代田区一橋2-1-1)

▽基調講演:連携が可能な経済成長を可能にする